



将来に向けての備えは？

2014年6月に神戸で開催された日本緩和医療学会に参加してきました。神戸ポートピア、国際展示場など、広い会場にあふれるばかりの参加者で、あらためて大会の大きさを感じてきました。めぐみ在宅クリニックからは、MSW 佐藤さんが、ディグニティセラピーの年間のまとめを発表し、院長は、看取り対応できる人材育成プロジェクトの発表と、いのちの授業に関するシンポジウムの座長とプレゼン発表がありました。

参加して感じたことは、国民の期待に対して、緩和医療学会はどのように答えようとしているのであろうか？という問いでした。確かに、早期からの緩和ケアの必要性は大切です。以前には、がんの痛みに対して、手つかずで、放置されていた時代があったことを考えると、隔世の感があります。しかし、在宅で仕事をしている立場で考えると、もっと先を考えなくてはいけないと感じました。国民が求めていることは、人生の最期を穏やかに迎えることではないか？という問いです。これは、治せる病気を放置してよいという意味ではありません。平穏死・終活という言葉に国民が反応するように、いつかはやがて来る人の死について、国民は多大なる関心を寄せているという意味です。残念ながら、“看取り”について真剣に取り組んできた医療系の学会は、ほとんどありません。その意味で、緩和医療学会の持つ社会的な役割は、大きいと感じていました。しかし、今回の発表では、約10年後には来るであろう多死時代にむけた企画はほとんど見あたりませんでした。その理由の1つとして、いわゆる地域包括ケアについては、厚生省は老年医学会に予算を振り、長寿医療センターが中心に活動を展開している背景があるかもしれません。がん対策基本法に基づいた緩和ケア教育を緩和医療学会が担当したように、地域包括ケアは、他学会に予算が回っています。だからといって、私たちには関係がないという姿勢は、残念な思いです。

この20年間、看取りの現場で患者さん・家族に誠実に関わってきた人は、ホスピス・緩和ケア病棟のスタッフです。治すことができない病気を抱えた人とその家族に対して、どのように接していくと良い援助が提供できるのか？という問いに対して、具体的な関わり方を経験してきました。それは、単に痛みを和らげるだけではなく、ただ病状を説明するだけではありません。大切な家族を失う悲しみ、今までできていたことが一つ一つできなくなっていく苦しみ、なんで私だけこんな苦しみを味わわなくてはいけない！という心の叫びに対して、一部のプロフェッショナルだけではなく、医療を専門にしない介護職を含めて、これからは地域で関わっていく必要があります。

めぐみ在宅クリニックでは、7月より人生の最終段階に対応できる地域スタッフ養成講座の第1期を開始します。緩和ケア20年の経験をもとに、地域で看取りに対応できる人材を育てるためのプロジェクトの一環です。7月から10月までの計4回を行い、修了証とレインボーリングを手渡す予定です。第2期は2015年に予定しています。まずは、地元でできること始めていきたいと考えております。詳細はHPかフェイスブックでお知らせいたします。ご期待ください。(小澤竹俊)

映画「うまれる ずっと、いっしょ」

映画「うまれる」の続編の紹介です。クリニックでも自主上映をさせていただき大変な好評を頂いておりました。実は、続編である「うまれる ずっと、いっしょ」に登場される今さんは、私がお自宅で最期を担当させて頂いた患者さんであり、ご家族です。悲しみと向き合っていく様子が描かれているとのこと、上映を楽しみにしております。

●公式サイト <http://www.umareru.jp/>



駿台予備校医系講演会

駿台予備校市ヶ谷校舎にて、医系講演会として120分枠の講演を予備校生に伝える機会がありました。医師を志す2教室300人の生徒さん相手に、いつもの話を伝えてきました。いくつか、感想を抜粋します。「ホスピスに携わりたくて医学部を志望してきました。今日のお話を聞いて、絶対にまず医学部に入ろうと思いました。」「力になれなくても逃げないという言葉が心に残りました。力になりたくてもなれない経験は、看取りだけでなく、日常の友人関係や家族関係でもあります。医師を目指す今から実践したいと思いました。」「医師になりたいと思ったきっかけを思い出しました。」「夏を前に、身の引き締まる思いがしました。医師になって先生に挨拶にいきたいです」いっぱいの感想を読みながら、いつか、医師になって、苦しむ多くの人の力になってくれると確信しました。良い出逢いを有り難うございました。

診療実績

	2006-2013年	2014年1~2月	2014年3月	2014年4月	2014年5月	2014年6月	2014年計	総計
訪問回数	26,421	889	419	468	505	527	2,808	29,229
自宅永眠	1,087	37	14	11	18	14	94	1,181
施設永眠	96	4	3	3	2	3	15	111
在宅(自宅+施設)	1,183	41	17	14	20	17	109	1,292
病院永眠	288	2	2	5	4	5	18	306